

五月十四日

十時学部三年生の製図十名程個人指導。凄まじくエネルギーが放出されるのを実感する。自殺行為だぜコレハ。これが最期これが最期と自分に言い聞かせる。早大ラグビー部のOB宝田雄大氏来室、沖縄の件で打ち合わせ。

五月十五日

室内原稿今日がメだが、どうしよう。何を書くかまだ決められぬ。

十四時過原稿書き上げる。ペットボトルと六本木アークヒルズを書いた。今日は一日中小雨がしとついでおり、まるで梅雨模様である。夜中川幸美先生来宅。朝山さんの家のテーマは時間だな。技術は時間に対するに耐久性の如き観念しか生み出す事ができなかった。朝山さんが古い民家のような、母親が育って、暮らしていたような家をと私に言ったのを、少しばかり、ほんの少しばかり抽象化すると、そういう事になる筈だ。川合健二のドラムカンの家の脇にあった、錆びたポルシェの意味を考えよ。私はいつまでも川合さんの、劇場の観客であり続けているよ。